

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	施策	③ 文化財の適切な保存
			施策の小項目名	○指定文化財の適切な保存・活用
主な取組	首里城復旧・復興事業			
対応する主な課題	③「琉球王国のグスク及び関連遺産群」をはじめ、沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財を適切に保護し、後世に引き継いでいくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
当該事業は、首里城復興基本計画に基づく首里城復興を推進するための事業である。		H29	H30	R元	R2	R3
					再発防止検討委員会の開催	
					仮設施設の設計・整備	
					利用・展示等に関する検討	
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		R4年度						令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
首里城復旧・復興事業		当初予算額	主な財源	令和3年度： 国等各関係機関との調整、火災の再発防止策・管理体制の検討、首里社地区整備基本計画の検討、中城御殿跡地整備の検討等を行う。					
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	58,266	58,266	令和4年度： 国等各関係機関との調整、火災の再発防止策・管理体制の検討、首里社地区整備基本計画の推進に係る取組等を行う。
県単等	委託				131,675	58,266	65,064	県単等	

活動指標名	仮設施設の設計・整備 (仮設展示施設等の設置)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
				設置	-	-	100.0%	58,266	順調	首里城公園管理体制構築検討委員会を設置し、委員会を4回開催し「首里城公園管理体制構築計画」を策定。また、首里社地区整備基本計画検討委員会を設置し、委員会を7回開催し「首里社地区整備基本計画」を策定。中城御殿跡地整備検討委員会を設置し、委員会を4回開催し「中城御殿跡地整備基本計画」を改定した。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 国、県、市等の行政関係者や地域団体等と調整し、計画通りに3つの計画の策定を行えたため「順調」である。
活動指標名	再発防止検討委員会の開催 (首里城公園管理体制構築計画)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
				検討	計画策定	計画策定	100.0%			
活動指標名	利用・展示等に関する検討 (中城御殿跡地整備基本計画の改定)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
				検討	計画策定	計画策定	100.0%			
活動指標名	利用・展示等に関する検討 (首里社地区整備基本計画の策定・推進)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
					計画策定	計画策定	100.0%			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
・令和3年度の検討委員会の意見をもとに、火災の再発防止策や首里社地区の整備計画、中城御殿跡の整備計画の策定と体制構築に取り組む。	・令和3年度に首里城公園管理体制構築検討委員会を設置し、委員会を4回開催し「首里城公園管理体制構築計画」を策定した。 ・令和3年度に首里社地区整備基本計画検討委員会を設置し、委員会を7回開催し「首里社地区整備基本計画」を策定した。 ・令和3年度に中城御殿跡地整備検討委員会を設置し、委員会を4回開催し「中城御殿跡地整備基本計画」を改定した。

様式1(主な取組)



3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・本事業の計画となる首里城復興基本計画が令和3年3月に策定されたので、その計画期間の設定や目指す将来像の実現に向けて、計画策定と事業進捗を図る体制構築が必要である。

○外部環境の変化

・国が令和2年3月に策定した首里城の復元工程に合わせ、関係機関や地域住民等との連携・協働して、事業進捗を図る体制構築が必要である。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・令和3年3月に策定された首里城復興基本計画に基づく施策を推進するため、令和3年度に首里城公園管理体制構築計画を策定した。令和4年度以降も有識者や関係機関等で構成する検討委員会を継続し、城郭内の段階的整備を踏まえた管理体制の強化等に取り組む必要がある。

・令和3年度に首里社地区の歴史まちづくりの推進に向けて、首里社地区整備基本計画を策定した。令和4年度以降は首里社地区まちづくり推進協議会を設置し、関係機関と連携して計画を推進する必要がある。

・令和3年度に中城御殿跡地整備基本計画を改定した。令和4年度以降は、有識者や関係機関等で構成する検討委員会を継続し、施設の設計等について検討する必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

・令和3年度に策定した首里城公園管理体制構築計画、首里社地区整備基本計画、中城御殿跡地整備基本計画に基づき、火災の再発防止策や管理体制の強化、首里社地区の歴史まちづくりの推進、中城御殿跡地整備に取り組む。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	施策	③ 文化財の適切な保存
			施策の小項目名	○指定文化財の適切な保存・活用
主な取組	首里城公園活性化推進事業			
対応する主な課題	③「琉球王国のグスク及び関連遺産群」をはじめ、沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財を適切に保護し、後世に引き継いでいくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容	年度別計画				
	H29	H30	R元	R2	R3
首里城正殿等の火災及び新型コロナウイルスの影響を受け首里城公園全体として来園者が大きく落ち込んでいるため、消失した正殿等の再建に向けた適切な情報を発信、首里杜館の整備を行い施設の利便性向上、イベントの実施により首里城復興に向けた機運を高め、公園来園者の増加に繋げる。				基本方針の検討	施設整備等
実施主体	県				設計・施設整備等
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】				復興イベントの実施

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	

活動指標名	施設整備及び復興イベント等				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	68.80%	復興イベント、施設整備等	復興イベント、施設整備等	93.7%	61,861	順調	首里杜館の利便性向上のための設備整備および首里城復興に向けたイベントに取り組んだ。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 首里城復興に向けたイベントおよび首里杜館駐車場管制設備等の整備に取り組めた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
・令和3年度は、適正なスケジュールにおいて設計および工事を行い、首里杜館の利便性向上を進めていく。	・令和3年度に首里城復興イベントを実施した。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・通常事業として県営首里城公園の整備が進められており、首里社館においても長寿命化に関する改修を進めている。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、施設閉鎖や来園者の減少がある。
- ・首里城復興基本計画の策定が進められている。
- ・首里城正殿等の復旧・復興に向けた取組が行われている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・令和3年度は、首里城復興イベントを行なったが、新型コロナウイルスの影響により開催方法を決定するのにスケジュールがタイトであったため、リモートを活用した開催等を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・令和4年度は、適正なスケジュールにおいて設計および工事、復興イベントを行い、首里城復興事業を進めていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	施策	③ 文化財の適切な保存
			施策の小項目名	○指定文化財の適切な保存・活用
主な取組	首里城復興基金事業			
対応する主な課題	③「琉球王国のグスク及び関連遺産群」をはじめ、沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財を適切に保護し、後世に引き継いでいくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
広く県内外から寄せられた首里城の復興を目的とした首里城復興基金(寄附金)の使途として、「沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した首里城城郭内施設等の復元に関し、国営公園事業者である国と協議、調整が整った事業に充当する。		H29	H30	R元	R2	R3
						木材・赤瓦等の調達
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		R3年度					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源		H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○R3年度：正殿に用いる木材(大径材)の調達、首里城赤瓦の県内製造に向けた試作・検討、正殿2階の扁額の実施設計 ○R4年度：正殿に用いる石材・木材(造作材・彫刻材)の調達、首里城赤瓦の県内製造に向けた検討及び製造、正殿2階の扁額の試作・検討	
県単等	委託					659,863	1,000,000	県単等		

様式1(主な取組)

予算事業名		R3年度					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源		H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○R3年度： ○R4年度：	
活動指標名	木材・赤瓦等の調達(木材(大径材の調達))					R3年度				
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B			
					契約・収穫	契約・収穫	100.0%			
活動指標名	木材・赤瓦等の調達(赤瓦の試作)					R3年度				
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B			
					各案での試作	各案での試作	100.0%			
活動指標名	木材・赤瓦等の調達(扁額の実施設計)					R3年度				
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B			
					実施設計	実施設計	100.0%			

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和3年度の取組改善案	反映状況
—	—



3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
○内部要因 ・ 県の首里城復興基金の充当する範囲については、国から仕様の提供や調達に係る調整を行い、国と協議を行って範囲を決定する必要がある。	○外部環境の変化 ・ 国が令和2年3月に策定した首里城の復元工程に合わせ、関係機関や材料産地の住民等と調整や情報提供を丁寧に行い、事業進捗を図る必要がある。
(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
・ 国は令和4年度に正殿建築工事に着手し令和8年に完成する計画なので、寄附者の想いに鑑み一日も早い復元に資するよう、県による扁額などの制作物の調達にあたっては、有識者や関係者などと連携して、正殿に相応しい品質で適切な制作日数となるよう取り組む必要がある。	



4 取組の改善案 (Action)

・ 令和4年度以降も、扁額などの制作物の調達にあたっては、有識者や関係者などと連携して、正殿に相応しい品質で適切な制作日数となるよう取り組む。
